

社会福祉法人 煌徳会 × 地域貢献事業

# YS-project

## 若者応援企画

大学に通いながら、学費+生活費を稼ぎ、  
卒業と同時に介護福祉士の資格も取得できる  
「YS-project」をご紹介します。

### メリット

週1～5日  
1日最高8時間まで  
勤務可能!  
(自由に選べます)

時給1,050円～  
月額最大168,000円程度  
稼げます!

例 1日5-6時間 月20日  
105,000～126,000円

フルで働くことで  
奨学金を遣わずに  
生計+授業料を  
工面できる!

### 奨学金を利用しないで学費を バイトで稼ぐパターン



実家で通学しながら、  
週3～5回、1日5～6  
時間勤務で、75,000  
～126,000円を稼ぎ  
介護を学びながら、奨  
学金を利用せずに進  
学できます!

### 奨学金を利用しながら 生計を成り立たせるパターン



ひとり暮らしをしながら、  
週3～5回、1日5～6  
時間勤務で、75,000  
～126,000円を稼ぎ  
介護を学びながら、生  
活費にあて進学でき  
ます!

### 充実した指導体制で若者を応援します

- ・1～2歳上の先輩がチューターとして親切な指導をしてくれる!
- ・年の近い指導者なので、学校生活の悩みも理解できる!
- ・未経験で資格がなくてもマニュアル完備で安心!
- ・最新の記録システムもiPhoneで簡単入力!
- ・介護経験をすることで、自分の力になり、周りとの差がつく!

### 介護福祉士の試験を受ける条件を卒業までにクリアできます

条件1. 実務者研修を修了している事。

条件2. 施設内で540日以上働いている事。

☞ 法人内にある実務者研修養成校を受けられます

大学1年～4年生までに介護福祉士の実務研修を修了できます。

☞ 大学、専門に通いながら、施設内で働けます

出勤日は週1～5回、自由に選べます。

社会福祉学科等の学生は社会福祉士と同時取得が可能です!

「YS-project」の利用者の声をお届けします。

## 目標を持って働ける仕事

津金 真湖音 [熊本県出身]

とどろき一倫荘 / 社会福祉学科2年生アルバイト



高校生の時から介護施設でアルバイトをしていて、大学も福祉系と決めていました。

両親に大学の授業料を出してもらうことを気にしていたときに、ゼミの先生よりYS-projectの説明を受けました。自分で学費を少しでも稼ぎながら、同時に介護福祉士の受験資格も取れることが私に合っていると思いました。

YS-projectでの介護経験は、社会福祉士を取得し、相談業務を目指している方や民間企業に就職する方であっても、無駄にならないものだと感じています。

## 介護の経験は自分の将来に必ず役に立つ

金子未来 [静岡県出身]

とどろき一倫荘 / 社会福祉学科2年生アルバイト



大学入学直後からコロナの影響でオンライン授業が多くなり、自分の将来を考える時間が増えました。そんな時にゼミの先生からYS-projectを勧められ、介護施設でアルバイトを始めました。同じ年代の職員の方が指導についてくれるので、話もしやすく介護のことや勉強の相談にも乗ってくれます。

この経験を通じ、お金を稼ぐことの大変さと仕事を任せられる嬉しさとともに、責任を感じています。YS-projectは、働きながら介護福祉士の受験資格にも繋がるので、とてもいいと思います。家庭の都合で、進学を諦めざるを得ない学生がいるなら、ぜひお勧めです。

## 介護全体のイメージアップと質の高い人材確保ができる

平野幸一 施設長

とどろき一倫荘 / 社会福祉法人 煌徳会



学費の問題で、進学を諦める高校生が多くなっています。社会福祉法人として、何か貢献ができないかという思いが強くなり、大学の先生と話していくうちにYS-projectを企画しました。介護業界は人材不足が課題となっており、学生支援を行うと同時に、人材不足の解消にも繋がるので、互いにメリットがあります。

ポイントは、学業の合間にアルバイトを好きな時間に選択できる点と、介護福祉士取得の実務経験を得られる点です。まだ始まったばかりの企画ですが、全国の高校に広がり、福祉に興味のなかった学生が進学し、アルバイトをすることで介護業界全体のイメージが変わっていく一つの取り組みになればと思っています。

## YS-projectの勧め!

長年、社会福祉学科の教員をしていて気づいたことがあります。一つ目は、卒業生の多くが介護現場での経験3年を経て介護福祉士の国家試験受験資格を取得しますが、本学では卒業しても社会福祉士・精神保健福祉士の受験資格しか得られないことです。二つ目は、学生の半数近くが返還義務のある奨学金を貸与されており就職後に返済し続けているか、もしくは決して小遣いのためではなく、定期代・教科書代などを工面するため、熱心にバイトに勤しんでいることです。三つ目は、私の研究分野である介護分野において、現場では深刻な人材不足に直面していることです。

これらの問題を考えたとき、社会福祉法人煌徳会さんと相談してYS-projectを実現することができました。福祉を学んでいる学生が、卒業と同時に社会福祉士と介護福祉士の受験資格だけでなく、同時に非常勤介護士として働く。実学を通して賃金を得て学費等を工面できる。一石二鳥、いや一石三鳥というわけです。

介護現場も人材確保の足がかりとなり、同時に社会福祉法人による学生支援といった社会貢献にも繋がります。このようにWin-Win(ウィンウィン)の関係を築くことで、充実した社会福祉学科での学生生活が過ごせるのではないのでしょうか。



結城康博

Yuki Yasuhiro

社会福祉学科教授

1969年生まれ。淑徳大学社会福祉学部(現・総合福祉学部)社会福祉学科卒業。法政大学大学院修了(経済学修士、政治学博士)。94年、2006年、東京都北区、新宿区に勤務。この間、介護職ケアマネジャー、地域包括支援センター職員として介護関係の仕事に従事(社会福祉士、介護福祉士)。現在、淑徳大学総合福祉学部教授(社会保険論、社会福祉学)。

